

令和6年度

静岡県保育連合会総会 並びに所長研修会 開催

期日 令和六年六月二十一日
会場 静岡市 グランシップ

令和六年六月二十一日、静岡市のグランシップにおいて「令和六年度静岡県保育連合会総会並びに所長研修会」が行なわれました。当日は、静岡県健康福祉部少子化対策担当理事高橋真一朗様、静岡県社会福祉協議会常務理事藤原学様、静岡県健康福祉部こども未来局こども未来課長松本文様をご来賓としてお迎え開催されました。



最初に連合会の土山会長より、能登半島地震のお見舞金について感謝が伝えられ、続いて、近年の少子化の問題、職員配置基準の見直し、法人の制度改革、退職金制度について、また、今後始まる「こども誰でも通園制度」について現時点での問題点などをお話しいただきました。これ

からも県保

連としては、制度改革や運営について、また保育の質の向上について、県内の保育所、認定こども園などに通うすべての子どものため、そこに働くすべての職員の笑顔のために会員の皆さんと一緒に少子化対策も良い方に向けて行けるように最大限の努力をさせていただきますと挨拶されました。

その後、高橋理事、藤原常務理事からもご祝辞をいただきました。

次に総会に移り、定款の規定により会長が議長となり議事が進行されました。議案として第一号議案 令和五年度事業報告及び決算について、第二号議案 定款変更について、第三号議案 役員の見直しについて、また、報告事項として令和六年度の事業計画及び当初予算について報告がありました。



されました。講師には社会福祉法人日本保育協会理事長の吉田学氏をお招きして「こども・子育て・保育をワクワクさせよう」というテーマで一時間半にわたりご講演いただきました。

講演の中で、人口減少・少子高齢化が進む社会の中で子どもも施策がどのように進んでいくかを過去の流れを踏まえながら説明していただきました。また、地域人口が急減し「こどもまんなか」社会が掲げられる中、様々な展開する動きをどう受け止め、どう対応するか。また、「こども」「子育て家庭支援」「保育園・認定こども園の経営」それぞれの視点を意識した上で、具体的に何から取り組むのか、「保育のプロ」として実践を通じて何を発信して行けばよいかを考えたのがご講義でした。

